

授 業 目 名	疾患別理学療法Ⅴ（切断）	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2年（後期）
担 当 教 員 名	中村 侑造、沖田 任弘	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>下肢切断者のリハビリテーションにおける理学療法士の役割は、切断術前後の評価、術後の断端管理に始まり、日常生活動作の早期獲得から本義足装着練習、職業・家庭復帰にいたる社会参加するための支援を含めて担当する。義足は失われた機能を補完するために、さまざまな改良が加えられ高機能化が進んでいる。理学療法士は義足の特性をよく知り、切断者の心身機能に応じた義足の使い方を指導してゆく必要がある。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>ライフスタイルに応じた最高のQOL獲得を目標にしたチームアプローチのための知識と技術を習得する</p>		
授業回数	授業内容		
第 1 回	切断の概要		〔沖田〕
第 2 回	切断部位選択と手術方法		〔沖田〕
第 3 回	合併症について		〔沖田〕
第 4 回	切断者のADLについて		〔中村〕
第 5 回	大腿義足 膝継手各論		〔中村〕
第 6 回	大腿義足のチェックアウト		〔中村〕
第 7 回	下腿義足のチェックアウト		〔中村〕
第 8 回	術前後の理学療法評価①、切断の原因と術後の断端管理		〔中村〕
第 9 回	術前後の理学療法評価②、義足装着訓練		〔中村〕
第 10 回	下肢切断者の理学療法①（生活の実態、特異的評価とは）		〔中村〕
第 11 回	下肢切断者の理学療法②（義足で歩けるのは、正常歩行との違い、床反力の作用）		〔中村〕
第 12 回	下肢切断者の理学療法③（演習）		〔中村〕
第 13 回	義手について		〔沖田〕
第 14 回	上肢切断者の理学療法①（断端管理、幻肢痛への対応）		〔沖田〕
第 15 回	上肢切断者の理学療法②（演習）		〔沖田〕
評価方法	期末試験にて評価を行う。（100%）		
教科書 参考図書	<p>〔教科書〕 なし</p> <p>〔参考図書〕 PT・OTビジュアルテキスト 義肢・装具学 第1版 羊土社</p>		
履修上の 留意点	特になし		
メッセージ	下肢切断者のリハビリテーションの過程と理学療法士の役割について理解することから始めます。なぜ義足で歩けるのか？をバイオメカニズムの観点から常にイメージして授業に取り組んでください。高齢切断者が増加している現状を踏まえて、合併症やハイリスク患者の理学療法についても考えます。		